

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	エンタメ業界講座		授業形態/必・選	講義	
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験：24年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。				
授業概要					
様々な業界企業および周辺企業について学ぶ。					
到達目標					
業界企業の相関性について、イメージできるレベルでの知識の修得。					

授業計画・内容	
【後期】 1回目	芸能業界の全体像について
【後期】 2～3回目	プロダクションの業務内容について レコード会社の業務内容について
【後期】 4～5回目	著作権について 音楽出版社の業務内容について
【後期】 6～10回目	TV・ラジオ/書籍出版社/Webメディアの業務内容について 媒体研究
【後期】 11回目	RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオについて
【後期】 12～13回目	映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロについて
【後期】 14～17回目	ホール/ライブハウス/イベントについて
【後期】 18～19回目	PA/照明/舞台/ローディー/機材レンタル会社について
【後期】 20回目	総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	教室内は食事不可。適宜発言を求めていくので、積極的に取り組んでください。
使用教科書	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクション・レーベルワーク		授業形態 / 必・選	講義	
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	21回 (42単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：24年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。				
授業概要					
マネージャーやファンクラブおよびレコード会社業務の基礎と、サブスクリプションサービス等最新の業界動向について学ぶ。					
到達目標					
マネージャーやファンクラブスタッフおよびレーベルスタッフとしての基本的な業務知識、業界用語の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1回目	授業概要説明
【前期】 2～4回目	プロダクションの業務内容について
【前期】 5～6回目	ファンクラブについて
【前期】 7～10回目	レコード会社の業務内容について
【前期】 11～14回目	マネジメントに求められる力/情報収集 アーティストプランニング
【前期】 15～16回目	スケジュールの組み方
【前期】 17～18回目	プロモーション/媒体の知識/プロモーション方法
【前期】 19～20回目	アーティストプロフィール作成
【前期】 21回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教室内は食事不可。適宜発言を求めているので、積極的に取り組んでください。
使用教科書	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	著作権講座		授業形態 / 必・選	講義	
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	20回 (40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験：24年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。				
授業概要					
音楽著作権をはじめとする著作権知識を学ぶ。					
到達目標					
将来音楽ビジネスを行うにあたり、実務として行っていることが、法に抵触するか否かの判断力を養えるようになる。					

授業計画・内容	
【後期】 1～5回目	著作権の概要 著作物、著作者
【後期】 6～8回目	著作者の権利
【後期】 9～11回目	保護期間～著作権譲渡と利用許諾について
【後期】 12～15回目	著作権の制限について
【後期】 16回目	著作隣接権について
【後期】 17回目	著作権の侵害について
【後期】 18回目	知的財産権制度
【後期】 19回目	情報社会と情報モラルについて
【後期】 20回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教科書を毎週持参の上、受講のこと。教室内は食事不可。配布プリントの取扱いに注意してください。
使用教科書	ウイネット ビジネス著作権検定 公式テキスト およびプリント配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	コンサート制作講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	21回 (84単位時間)	1年次	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験：29年。 CMリサーチ、DTPオペレーター、雑誌デザインなど様々職種を経て、フリーランスに。ライター、マネジメント、イベント運営など、幅広く業務を行っている。				
授業概要					
コンサート制作における、主として企画面やイベンター業務について学ぶ。 この科目で学習した内容について、後期「音楽スタッフ実習」にて実践する。					
到達目標					
基礎的なコンサート制作業務についての流れの理解、簡単な企画書や予算書などの書類作成知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	授業概要説明。 様々なコンサートについて知る。
【前期】 5～6回目	アーティストコンサートの仮想セットリストを考える。
【前期】 7～8回目	フェス、対バンイベントの企画を考える。
【前期】 9～10回目	仮想フェス案作成。企画ライブプレスト。
【前期】 11～12回目	様々なライブから学ぶ、企画ライブ会議。
【前期】 13～14回目	予算管理、収支予測を立てる。
【前期】 15～18回目	2.5次元舞台概論。
【前期】 19～20回目	トラブルと回避策を考える。
【前期】 21回目	総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教室内は食事不可。また、学科規則に基づき、場所にふさわしい服装をすること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	デザインPC講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	84回 (168単位時間)	年間単位数	11単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験：29年。 CMリサーチ、DTPオペレーター、雑誌デザインなど様々職種を経て、フリーランスに。ライター、マネジメント、イベント運営など、幅広く業務を行っている。				
授業概要					
Illustrator、Photoshopの基礎的な操作およびOfficeソフトの基本的な使用方法について学ぶ。					
到達目標					
フライヤーやホームページ制作に必要とされる基礎的なデザイン知識や技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～7回目	PCの操作：Macの基本的な使い方 Wordの基本知識と操作
【前期】 8～12回目	Excelの基本知識と操作 関数の説明など
【前期】 13～25回目	Illustrator ・画面の見方、各ツールの使い方 ・簡単なイラスト制作
【前期】 26～37回目	Photoshop ・基本操作から画像補正 ・IllustratorおよびPhotoshopを用いたフライヤーの作成
【前期】 38～44回目	・PowerPointの説明と企画書作り ・カメラ撮影と現像について ・名刺作成
【後期】 45～53回目	WEBデザインの基本 ・HTMLタグとワイヤーフレーム
【後期】 54～65回目	印刷物のフライヤーとパンフレット作り
【後期】 65～74回目	Webベースのデザインツールに触れる。 これまで習得した知識・技術を使った総合デザイン制作。
【後期】 75～84回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。授業作成データの保存については、講師の指定した方法で行ってください。
使用教科書	課題のための例題を随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	キャリアトレーニング I		授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	21回 (42単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
社会人としての一般常識や所作、礼儀作法を学ぶ。					
到達目標					
秘書検定3級に合格できるまでの知識習得と、履歴書作成・面接対策の基礎を一通り習得している。					

授業計画・内容	
【後期】 1～4回目	必要とされる資質～職務知識について
【後期】 5～6回目	一般知識 ・企業の基礎知識について
【後期】 7～8回目	一般知識 ・企業の組織と活動について ・社会常識について
【後期】 9～10回目	マナー・接遇 ・人間関係と話し方について ・話し方・聞き方の応用について
【後期】 11～12回目	マナー・接遇 ・電話の応対について ・接遇について ・交際について
【後期】 13～16回目	マナー・接遇 ・冠婚葬祭 ・宴席
【後期】 17～18回目	技能 ・会議と秘書について
【後期】 19～20回目	技能 ・文書管理/資料管理/日程管理・オフィス管理について
【後期】 21回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教科書を毎週持参の上、受講のこと。教室内は飲食不可。配布プリントの取扱いに注意してください。
使用教科書	早稲田教育出版 秘書検定3級 クイックマスター およびプリント配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	PA基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	41回 (82単位時間)	1年次	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験：27年。 ライブハウスからドームクラスまで、様々な規模のPAオペレーターを経験。自身の会社も立ち上げ、後進の指導などマルチな活動を行っている。				
授業概要					
音響について必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのセッティングとオペレーターを学ぶ。また、それに付随し、現場で必要な機材の運搬方法についても学ぶ。					
到達目標					
コンサート・ライブに於ける音響および楽器知識と技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	PA概論 機材搬入出の方法 マイクスタンドの取り扱い
【前期】 4～6回目	音響機器の説明① ・音について ・音声信号の流れについて ・電源のON/OFF
【前期】 7～9回目	音響機器の説明② ・アンプ、スピーカーの説明、つなぎ方 ・アナログミキサーの説明
【前期】 10～15回目	基本的な音響仕込み：マイク～スピーカーまでの仕込み ステージマンとして：仕込み図からの仕込み
【前期】 16～22回目	これまでの音響基礎知識まとめ 仕込み図について
【後期】 23～26回目	実習ライブ① ・仕込み図作成 ・叩きの練習 ・リヴァーブについて ・仕込みから本番、バラシまで
【後期】 27～34回目	実習ライブ②～③ ・マイク/DIの聴き比べ～選定 ・プリプロ ・仕込みから本番、バラシまで
【後期】 35～39回目	企画ライブ ・音源の確認と仕込み図の作成 ・作成した仕込み図に沿っての仕込み～本番
【後期】 40～41回目	実習ライブ④ ・作成した仕込み図に沿っての仕込み～本番 総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	ホール内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	照明基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	41回 (82単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：15年。 ライブハウスでの照明スタッフを経て独立。ライブハウス業務の一環として企画制作やデザインなども行い、様々な角度から音楽業界に関わっている。				
授業概要					
照明について必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのセッティングとオペレートを学ぶ。					
到達目標					
コンサート・ライブに於ける照明技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	照明基礎① ・8の字巻きについて ・脚立 ・ケーブルとコンセント
【前期】 4～7回目	照明基礎② ・鉄管結びやもやい結び ・一般照明の灯体の種類 ・カラーフィルター ・ゴボ
【前期】 8～10回目	照明基礎③ ・スタンドの取り扱い ・サスとバトン ・シュート
【前期】 11～15回目	照明基礎④ ・スタンドの取り扱い ・サスとバトン ・シュート
【前期】 16～22回目	照明基礎⑤ ・フォロースポット ・DMXと調光ユニットについて ・LEDとMV ・パッチとレコード (シーン) ・レコード (チェイス)
【後期】 23～28回目	実習ライブ① 仕込み～本番
【後期】 29～34回目	実習ライブ②③ 仕込み～本番
【後期】 35～39回目	企画ライブ 仕込み～本番
【後期】 40～41回目	実習ライブ④ 仕込み～本番 総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	ホール内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	レコーディング基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	41回 (82単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴：34年 コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。				
授業概要					
必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのレコーディングからミックスまで学ぶ。					
到達目標					
レコーディング現場に於ける音響技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	レコーディングスタジオのシステムを覚える。 「スタジオの使用注意」の説明。電源ON/OFF。関連英単語テスト。CD視聴会。
【前期】 5～8回目	信号の流れ (マイク～スピーカー) コネクタの種類、ケーブル巻き。 マイク、マイクスタンド、HA、インターフェース。
【前期】 9～12回目	HA、インターフェース、PC。 Protoolsのセッション作り。 パワーアンプ、スピーカー、CueBox、ヘッドフォン。
【前期】 13～17回目	弾き語りレコーディングの準備。セッション、クリック作り。
【前期】 18～22回目	弾き語りアーティストのレコーディング①
【後期】 23～27回目	ミックス。バウンスを学ぶ。 バンド録音を想定したセッティング。
【後期】 28～32回目	レコーディングを想定したセッティング。 ProTools操作、マイクチェック、マイクセット。 略譜面を作る→歌詞カードでカウント取りの練習。
【後期】 33～38回目	弾き語りアーティストのレコーディング②
【後期】 39～41回目	バンド編成のセッティング。 Protoolsのオペレート。 総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	レコーディングスタジオ内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。歌詞・譜面の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	映像基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	41回 (82単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験：16年 映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。				
授業概要					
映像編集ソフトを用いた編集の基礎を学び、ページックな作品を制作する。					
到達目標					
撮影機材の取扱いや編集ソフトの使い方の基礎技術の習得。 独力で簡単な作品の編集が可能な技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	データ管理、映像制作について。 Premiere基礎：UIの説明、基本編集操作。
【前期】 6～10回目	動画制作実習①：イメージ動画作成。
【前期】 11～15回目	Premiere基礎：ショートカット、エフェクト、キーフレーム、書き出し。 動画制作実習②：トレーラームービーの制作。
【前期】 16～22回目	撮影の初歩技術：画角の基本。撮影時の注意事項。カメラ設定。カメラワーク練習。 動画制作実習③：自己紹介動画の制作。
【後期】 23～28回目	動画制作実習③：自己紹介動画の制作。
【後期】 29～33回目	カメラ実習：配信可能な状態にまでセッティングし、実際に合わせてカメラワーク、スイッチングワークを練習する。
【後期】 34～37回目	動画制作実習④：クラス制作：テーマに沿った動画をグループで制作する。
【後期】 38～40回目	「音楽スタッフ実習」と連動した企画ライブの撮影～編集。
【後期】 41回目	総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は食事不可。撮影データの保存については、講師の指定した方法で行ってください。
使用教科書	課題に応じた教材データ（動画や画像を含む）を配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽スタッフ実習		授業形態/必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験：29年。 CMリサーチ、DTPオペレーター、雑誌デザインなど様々職種を経て、フリーランスに。ライター、マネジメント、イベント運営など、幅広く業務を行っている。				
授業概要					
前期実施の「コンサート制作講座」に基づき、学生企画によるライブイベントを行う。 コンサート制作、舞台制作、PA、照明、映像制作など、様々な職種の経験をする。					
到達目標					
タイムテーブル作成やアーティストのブッキング方法などのノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	企画コンセプトの立案
【前期】 6～10回目	公演概要作成
【前期】 11～15回目	コンセプトや公演概要に基づく、出演者ブッキング
【前期】 16～21回目	予算提出 タイムテーブル作成
【後期】 1～8回目	フライヤーやホームページの基本デザイン
【後期】 9～16回目	SNS開設～管理方法について
【後期】 17～28回目	イベント宣伝 ・フライヤー配布、ホームページ開設。SNS運用。
【後期】 29～35回目	本番準備 ・会場装飾、楽屋設置品、ケータリング、当日折り込み、機材申請、備品申請
【後期】 36～40回目	イベント本番実施 各種報告(反省会)
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	教室、ホール内は飲食禁止。また、学科規則に基づき、場所にふさわしい服装をすること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払う事。
使用教科書	授業資料として、公演概要書などのフォーマットをEXCELやPDF形式で配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽スタッフ総合実地演習 I		授業形態 / 必・選	演習	必修
授業時間	180分 (1単位時間45分)	年間授業数	8回 (32単位時間)	1年次	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場やイベントにおける作業、流れ等のノウハウや最新技術の習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。					

授業計画・内容	
1～7回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント①～⑦
8回目	InterBEE見学
評価方法	平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等しっかりと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、タイムテーブル等を配布